



アサヒビール株式会社
近畿圏市場開発支社 支社長 古川充彦

アルコール関連問題の解決に向けて

日頃より、弊社製品を「減」と「新たな飲用機会」の防止など、社会全体にご愛顧いただき、心よりの創出によるアルコールの厚く御礼申し上げます。 関連問題の解決」をテーマとして各種取り組みを進めています。

2023年からは「飲めても飲めなくても、みんな飲みたい。」というメッセージを新たに設定し、吉本興業株式会社とのコラボレーションを通じて、飲める人と飲めない人が共に楽しめる生活文化の創造に取り組んでいます。

「不適切な飲酒」の撲滅と「新たな飲用機会」の創出によるアルコールの削減」の取り組みでは、当社が社会・お客さまにまわす、適切な飲酒量や健康リスクに関する情報を提供する啓発活動を行うとしています。これにより、適切な飲酒の促進を図ります。

不適切な飲酒の撲滅とスマートドリンクの推進

剩餘飲酒や不適切な飲酒による健康被害や社会的なトラブルを引き起こす可能性があり、お酒の正しい付き合い方が大切です。アサヒビールでは、酒類を製造・販売する企業としての社会的責任を果たすべく、「責任ある飲酒」をサステナビリティの重点課題に掲げ、「不適切な飲酒の撲滅」を推進しています。

「不適切な飲酒」の撲滅については、アルコールを販売する際の責任ある行動の促進や、20歳未満の飲酒の促進や、妊産婦飲酒、飲酒選びやすいよう、環境を整備に取り組みんでいます。

スマートドリンクの推進については、アルコール消費に関する環境や社会的な影響に対する啓発や、商品パッケージの拡大し、多様な機会を創出を通じて、酒類文化の健全な発展に向けて取り組む、人々の「楽しい生活文化」の創造を目指していきます。